

公開特許公報

昭54-2325

⑤Int. Cl.<sup>2</sup>

識別記号

⑥日本分類

庁内整理番号

③公開 昭和54年(1979)1月9日

A 01 N 9/22 //

30 F 371.221

7132-4H

発明の数 1

C 07 D 239/94

30 F 91

6670-4C

審査請求 未請求

(全 9 頁)

④農園芸用殺菌剤

②特 願 昭52-67035

②発 明 者 本田建夫

②出 願 昭52(1977)6月7日

宇部市大字小串1978番地の5

②発 明 者 中神和人

宇部興産株式会社中央研究所内

滋賀県野洲郡野洲町大字野洲10

同

41 三共株式会社農業研究所内

宇部市大字小串1978番地の5

同 横井進二

宇部興産株式会社中央研究所内

滋賀県野洲郡野洲町大字野洲10

⑦出 願 人 三共株式会社

41 三共株式会社農業研究所内

東京都中央区日本橋本町3丁目

同 西村健二

1番地の6

宇部市大字小串1978番地の5

⑧代 理 人 弁理士 櫻出庄治

宇部興産株式会社中央研究所内

最終頁に続く

同 長井繁喜

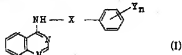
明 細 書

1. 発明の名称

農園芸用殺菌剤

2. 特許請求の範囲

1. 一般式



(式中、Xは低級アルキレン基を示し、Yは同一または異なる低級アルキル基、低級アルコキシ基またはハロゲン原子を示し、nは1または2を示す。)を有する化合物またはその鹽付加塩を有効成分とする農園芸用殺菌剤。

2. Xが炭素原子数1ないし3個を有する直鎖状または分岐鎖状のアルキレン基である式(I)を有する化合物を有効成分とする特許請求の範囲第1項に記載の農園芸用殺菌剤。

3. Xがメチレン基またはメチルメチレン基である式(I)を有する化合物を有効成分とする特許請求の範囲第1項に記載の農園芸用殺菌剤。

4. Yがメチル基、メトキシ基または塩素原子である式(I)を有する化合物を有効成分とする特許請求の範囲第1項に記載の農園芸用殺菌剤。

5. nが1である式(I)を有する化合物を有効成分とする特許請求の範囲第1項に記載の農園芸用殺菌剤。

6. Xがメチレン基またはメチルメチレン基でYがメチル基、メトキシ基または塩素原子であり、nが1である式(I)を有する化合物を有効成分とする特許請求の範囲第1項に記載の農園芸用殺菌剤。

3. 発明の詳細な説明

本発明は、4-アミノキノゾリン誘導体を有効成分とする農園芸用殺菌剤に関する。

さらに詳しくは、本発明は次の一般式(I)

